

IFCCレター

改題NO80（通算94号）2019年6月

IFCC・国際友好文化センター
東京都新宿区山吹町333番地
辻ビル405
TEL 03-3268-4387
FAX 03-3268-6079
MAIL:jvccpf@rmail.plala.or.jp

IFCCの活動への御協力に感謝致します。

2019 前期の取組から

IFCC及び旅行社アイエフシーはこれまで以下の活動に協力してきました。

●ベトナム少数民族学生奨学金支援贈呈を2か所で実施

日本ベトナム平和友好連絡会議（JVPPF）訪問団は1月12日、ベトナム北部ハザン省で少数民族中学生へ奨学金贈呈してきました。

また鹿児島JVPPFも1月25日、南部ラムドン省少数民族高校奨学生へ奨学金を贈呈してきました。

※詳細はJVPPF会報『ホアビン』（2019年7月発行）で。ご希望の方はお申し出ください。



鹿児島JVPPFがラムドン省で実施した奨学金贈呈模様（2019・1・25）

●ベトナムで枯葉剤爆弾被害者調査・慰問を実施

1月にベトナムを訪れたJVPPF訪問団と鹿児島JVPPFは夫々、枯葉剤被害者家庭慰問を実施してきました。JVPPF訪問団は北部のハザン省、タイビン省、ナンディン省で、鹿児島JVPPFは南中部のカインホア省で実施。

※詳細はJVPPF会報『ホアビン』（2019年7月発行）で。ご希望の方はお申し出ください。

●第3回CKK教育視察団がキューバの教育を視察

キューバ教育研究会が企画主催する視察団が4月22日からキューバを訪問してきました。この視察団は2013年の第1回を皮切りに2016年第2回と継続されてきているもの。

※内容は近日発行の報告書で。お求めは研究会事務局 motomuko@js7.so-net.ne.jp まで。

●寧夏回族自治区の沙漠・固原市で植林～緑化派遣活動は今年が最終年

IFCCは日中緑化交流基金の助成を受け、中国寧夏回族自治区と河北省唐山市（遷西県）、内モンゴル多倫県で、16年間（足かけ17年間）続けてきています。2015年から寧夏回族自治区の固原市の沙漠と、内モンゴルの多倫県の2ヶ所で事業を継続してきましたが今年（2018年度分）で日中緑化交流基金の助成事業が最後となりました。2002年開始時の紅寺堡プロジェクト、2004年開始の平羅県プロジェクトの保育状況も視察してきました。

中国は今、植林事業開始時に比して隔世の感を漂わせています。

残りの内モンゴル多倫県プロジェクト2件は7月25日から実施されます。

※詳細はプロジェクト会報『緑の架け橋』次号で。



固原市の植林事業地で、現地ボランティア達と（2019・5・10）

●「キューバ、日本、尼崎友好訪問団」～革命60周年のキューバへ

5月22日、医療生協関係者や「キューバ好き」の方々がキューバへ。憲法改定（4月28日施行）直後のキューバで中学校、ファミリー診療所、高齢者ホームなど視察し、キューバ労働組合中央組織（CTC）、諸国民友好協会（ICAP）など表敬訪問してきました。



尼崎グループ・キューバ訪問/ハバナ市内のファミリー診療所のスタッフと（2019/5/27）

2019 後期の取組とご参加の呼びかけ

●最後の緑化植林派遣～内モンゴル・多倫県で

実施：2019年7月25日～7月30日 6日間 企画：IFCC

共催：NPO・亜州道路

文字通り最後の派遣となります。「蒙京津冀青少年生態緑化モデル林プロジェクト」「中日青年灤河源生態緑化モデル林事業」の2件の事業地で第五期植林活動をおこないます。 ※詳細はお問い合わせ下さい

●ベトナム/クアンナム省ダイオキシン被害者支援訪問団

企画：埼玉JVPPF 期日：2019年8月4日～8月9日

中部クアンナム省で30軒に及ぶ「仁愛の家」寄贈活動を続け、今年も訪問します。

※賛同参加者を募集中。詳細はお問い合わせ下さい。

●ベトナム枯葉剤爆弾被害者支援チャリティーコンサート2019「ベトナムの色彩と日越友情の空間」へご協力下さい。

今年は表記企画を開始して24年目となりますが、今なお「戦争は私の体の中では終わっていない」という被害者の叫びが続いています。現在、第四世代にまで続いています。被害者の叫びがある限りこの活動を続けていきます。

●第五次・中国平和の旅～細菌兵器製造施設跡、平頂山惨案跡、河北・三光作戦跡など～

実施：2019年10月31日(木)～11月05日(火) 6日間

企画：同 企画委員会

I F C C が発起してきた中国での「侵略を記憶し語り継ぐ平和の旅」

は、2011年の20回目(20年)の旅をもって区切りがつけられました。そこで、2015年の戦争終結70周年にあたり、最近の逆行する政治状況を鑑み、これまでの平和の旅の足跡を問う為、『村山談話を継承し、2015年を日中友好年とする訪問団』を実施。2017年から継続することの意義を踏まえ、「村山談話を継承する平和の旅」として継続しています。

前回の重慶無差別爆撃惨事跡、細菌爆弾投下惨事跡視察を受け、今回の第五次平和の旅は以下の内容で予定します。

——侵略の遺跡・史跡視察：・731細菌部隊跡(ハルピン) ・柳条溝事件跡(瀋陽) ・平頂山惨案跡(撫順) ・三光作戦跡(河北の「潘家戴庄惨案」「潘家峪惨案」)

——惨案の幸存者証言聴取：(※不確定要素あり)

——交流：中国社会科学院、中華全国青年連合での意見交換

●革命60周年、憲法改定で歩み続けるキューバへ

——22回キューバ平和友好訪問団

実施：2019年11月29日(金)～12月6日(金) 8日間

企画：CUBAPON

革命60周年はどのように迎えられる、次に向かうのか。1958年

12月28日、ゲバラ率いるサンタクララの攻防が革命を決定づけた。サンタクララで列車襲撃跡、子どもを抱くゲバラ像、カミーロの丘など見学。そして1961年の米国による革命破壊の侵攻を防いだ**プラヤヒロン**の地も訪れます。

キューバ革命とキューバ人民への連帯を呼びかけます。まず、キューバを訪ねましょう。※詳細資料はお問い合わせを。

●ベトナム少数民族学生奨学金支援活動訪問団

今年の下半期、広島HVPPFは中部クアンチ省で、JV

PPF 鹿児島支部は南中部ラムドン省でそれぞれ奨学金贈

呈訪問計画中。

●ベトナム枯葉剤爆弾被害者支援の調査・慰問団

期日：2020年1月中旬(詳細9月発表) 企画：JVPP

チャリティーコンサートを受け、枯葉剤被害者の調査・

慰問団を実施します。



ナンディン市チュオンチ区トウエン通。1977年生(男)、二世。精神異常で狂暴化するため、ベッドでは足枷のチェーンがあった。姉は健常で世話している。妹も精神薄弱のようだった。(209/114)

●ベトナムハザン省少数民族中学生奨学金支援活動

期日：2020年1月中旬(詳細9月発表) 企画：JVPP

NPO 日本ベトナム平和友好連絡会議(JVPPF)は2016年から、大人の月収5,000円程度の貧困地域ハザン省で、少数民族出身中学生に奨学金支援をおこなっています。現在一期生3年目10人、二期生2年目10人、三期生10人に年額180ドル(1人当たり)を支援してきています。

現在、最終期四期生10人のサポーターを募集中。ご協力いただける方はご連絡下さい。JVPPFより詳細資料をお送りします。

～ベトナム戦争・枯葉剤爆弾被害者支援のための～ 2019「ベトナムの色彩と日越友情の空間」日程

- △10月16日(水) (要請中)
- ◎10月17日(木) 埼玉・東松山市民活動センター
- ◎10月18日(金) 青森市・県民福祉プラザホール
- △10月19日(土) (要請中)
- 10月20日(日) (調整日)
- ◎10月21日(月) 盛岡市・岩手教育会館ホール
- ◎10月22日(火) 秋田市・子ども劇場ホール
- ◎10月23日(水) 東京・西東京市こもれび小ホール
- ◎10月24日(木) 神奈川・相模原市南市民ホール
- ◎10月25日(金) 新潟・南魚沼市コミュニティホール
- ◎10月26日(土) 富山市・ボルファートとやまホール
- △10月27日(日) (要請中)
- △10月28日(月) (調整日)

△：要請中
○：調整中
◎：会場確定

※未だ開催空白日があります。開催ご協力お願いします。

仲間と企画しました—ご参加お待ちしております!

ベネズエラを知る集い(講演と映像)

期日：7月7日(日) 13時～

於：明治大学リバティータワー1153教室(お茶の水)

講演：伊高浩昭(ジャーナリスト) 映像：「革命を守る」他

企画：同実行委員会(クバボン気付)

FAX03-3268-6079 資料代800円

【ご報告】 フェイクに抗う

ベネズエラ・ボリバル共和国に関するフェイクニュースの氾濫に憤りを受け、私(鎌田)は事実を伝えるべく資料をメール発信しています。

1973年の南米チリのアジェンデ政権が倒されたことが今なお記憶から消えない私としては、USAによって理不尽に捏造・偽造されコントロールされたニュースまみれのベネズエラ・ボリバル共和国の人民にUSAへの怒り以上に“悲しい痛み”を覚えます。

彼らは豊かな“石油埋蔵”ゆえに狼どもの餌食となり蹂躪されてきました。彼らは彼ら自身の手で「決定すべきこと」を委ねられたら素晴らしい豊かで公正な国づくりをするでしょう。

※情報ご希望は下記にご連絡ください。

jvccpf@rmail.plala.or.jp



ベネズエラ・平和を求めると1000万署名活動。11月の日、ベネズエラの平和を守り、米国政府の介入主義的行為とこの国に対するクーデター攻撃を止めるように求める全国的な署名が行われた。